

第3項 旧常説寺

1) 遺跡名：常説寺跡 2) 中世寺院番号：2012013 3) 分布図：第22図分布図19甲府北部 4) 所在地：甲斐市敷島町吉沢 5) 調査期間：H18年11月13日～12月13日 6) 時代：中世 7) 遺構：建物跡・五輪塔列 8) 調査機関：甲斐市教育委員会 9) 参考文献：敷島町教育委員会 2001『敷島町の文化財』・小坂隆司ほか 2003 敷島町文化財調査報告第13集『山宮地遺跡Ⅱ』敷島町教育委員会・大寫正之 2003 敷島町文化財調査報告第17集『山宮地遺跡Ⅲ』敷島町教育委員会・大寫正之 2008 甲斐市文化財調査報告第12集『常説寺跡』甲斐市教育委員会

10) 概要

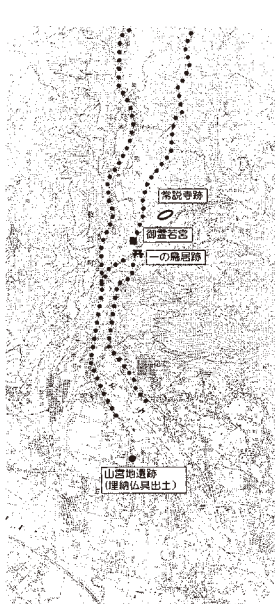
甲府盆地の北西部には、金峰山を最高峰とする奥秩父連峰からのびる山々が連なっている。現在の常説寺の前地である旧常説寺は、その金峰山に水源を持ち、甲府盆地へ南流する荒川右岸の河岸段丘上に立地する。遺跡は一段高い山腹に位置し、遺跡の東側には吉沢の集落が広がりその一角に現在の常説寺が所在する。

金峰山は甲斐では平安時代以降、富士山と並び信仰を集めており、山頂には修験道の本尊である蔵王権現が祀られるなど、修験道者の行場が数カ所で認められる。『甲斐国志』には、金峰山へ至るルートは9口があったとし、このうち南口である吉沢・塚原・亀沢は、常説寺の所在する甲斐市敷島町に所在する。近年この御岳道に近接する島上条地内の山宮地遺跡では、竪穴状遺構より仏具を含む銅製品類がまとまって出土した(第58図1～5)。銅製品は17点を数え、中には錫杖頭や水瓶などがあり、錫杖頭はその形態からおおよそ15世紀代に位置づけられる。これらは再び鑄造するためにまとめて埋めたか、もしくは儀礼行為終了後埋納されたものと考えられている。いずれにしても金峰山の山岳信仰にかかわる遺跡と位置づけられている。さらにその御岳道のルート上、吉沢と亀沢の境にある御霊若宮の入り口には、かつて金桜神社に通じる御岳道に石鳥居が建てられていた。金桜神社の一の鳥居である。その後鳥居は倒壊し、昭和59(1984)年に発掘調査が行われた。鳥居は全国的に見ても数少ない鎌倉時代のものであり、県内でも最古段階に位置づけられる。常説寺はこの御岳道沿いに位置し、石鳥居の北東部に近接するなど、山岳信仰の宗教的空間に所在するといってもよい。

その常説寺は、弘仁14(823)年頃に天台宗寺院として最澄の弟子である栄澄が開創したと伝えられる。当初は台嶺山円乗寺、順徳寺と称したらしい。『甲斐国志』によれば、承久の乱で佐渡へ配流となった順徳上皇が、京都帰還を祈願するため越後の寺泊から、勅使を甲斐の御岳山に派遣した。その時に奉弊物を乗せた輿を当寺に留め置いて、参拝したという。その後地元の人々によって建立された堂に、この輿が納められた。この輿は「白輿」と呼ばれ、ツガ・ヒノキ材を用い、屋根の軒にゆるい反りがつけられほぼ正方形を呈する。鎌倉時代の風格をよくあらわすという。その後文永(1264～1275)年間に日蓮が訪れたことを機に、日蓮宗に改宗した。

旧常説寺は、荒川の河岸段丘上のテラスに展開する。テラス周辺の田畑のあぜ道などでは、以前から五輪塔等石造物の部材が点在しているのが確認されていた。テラス奥の傾斜変換点沿いでは、自然石を用いた基壇上に、東西に横一列にほぼ隙間なく並ぶ五輪塔を中心とした石造物群が確認された。石造物列は西へ行くほど年代が新しく、初段階の石造物群は、テラス東側の南から北へテラスを上がる導入路の、すぐ西側から並べられたものと判断される。五輪塔の基壇下では遺構は確認されなかった。これらの石造物群はおおよそ中世後半から近世のものであるが、最も古相を呈するものは16世紀初頭に位置づけられる。また石造物群に伴って北宋銭や寛永通宝などの銭が出土している。さらにテラス西側の五輪塔前面は、地盤がつき固められており、建物跡が所在した痕跡を確認した。一方テラス中央先端部では、巨石の上部に表面が平坦な自然石を用いた石造物が立てられた状態で所在していた。石造物の銘文から、本遺跡が旧常説寺であると判断できる。石造物群や出土遺物の年代から今回の発掘調査では、文献では空白期間である中世段階の常説寺の一端が明らかとなった。

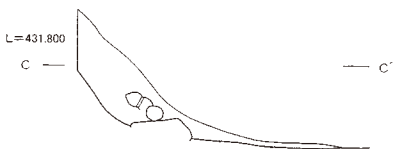
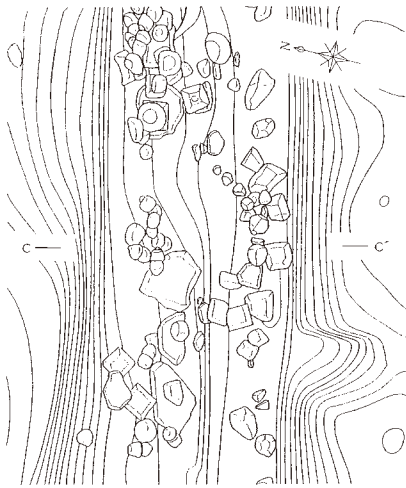
なお本稿は調査担当者の大寫正之氏に、多くの御教示を賜った。



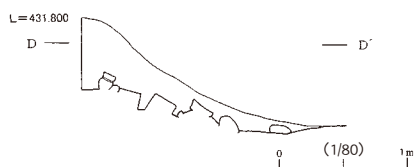
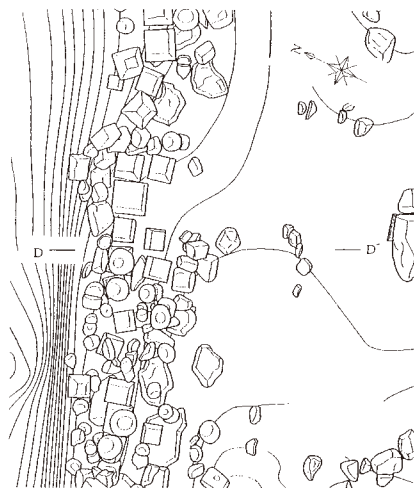
遺跡位置図と周辺図



全体図



西側五輪塔・セクション図



東側五輪塔・セクション図

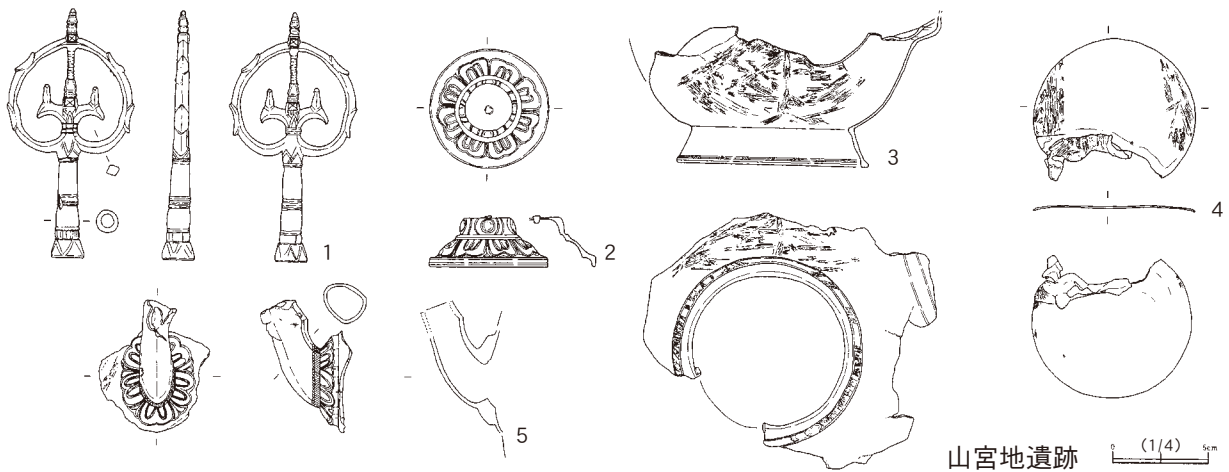


五輪塔出土状況①



五輪塔出土状況②

旧常説寺



山宮地遺跡 (1/4) 5cm

第58図 旧常説寺全体図・石造物出土状況・山宮地遺跡出土遺物